

研究テーマ

「医療ソーシャルワーカーの早期介入方途」

—その方法と多職種連携システムの構築—

研究室の紹介

当研究室では主に医療ソーシャルワーク、医療ソーシャルワーカーに関連した事柄をテーマとしています。現在のテーマは上記のようなものとなっています。

主な研究テーマ

- 多職種連携システムについて
- 早期介入のための医療機関組織について
- 医療ソーシャルワーカーの養成教育

主な担当講義科目

- 社会福祉学研究特論Ⅲ（ソーシャルワーク研究）
- 社会福祉学特論Ⅴ（医療福祉・精神障害者福祉特論）
- 保健・医療・福祉サービスマネジメント

研究紹介

少し理屈っぽいことを書くと、医療ソーシャルワークと保健医療サービス提供機関（病院等）におけるソーシャルワークとは重なりつつも、ずれるところがあります。研究室としては、あくまでも医療ソーシャルワークを中心にしたいと思っています。とはいえ、現実的には病院（医療機関）ソーシャルワークに関するニーズが高いので、これに応えるようにしています。

その一つが現在の主テーマとなっています。病院等保健医療サービス提供機関において、医療ソーシャルワーカーが早期に介入できていれば、よりスムーズに医療サービス利用者（患者・家族）の抱える課題等へ対処できただろうと思われることが多くあります。この早期介入方途を探ることが目下のテーマとなっています。その際に医療ソーシャルワーカーが必要とする方法や技術を含みつつ、これに限定しないで考えたいために「方途」という表現を用いています。早期介入を実現するためには、多職種の協力・参画が必要です。しかも、偶発的・個人的なものではなく、病院等が持つ組織力とつながっていかねばならないと考えています。「主な研究テーマ」欄に記載した「多職種連携システム」「早期介入のための医療機関組織について」はこれに関連したテーマです。

研究室として、もう一つ大きなテーマと考えているのが「医療ソーシャルワーカーの養成教育」です。これには、更に基本となる「ソーシャルワーカーの養成教育」が絡んでおり、さらに言えば、そもそも「ソーシャルワーカーとは？」、「ソーシャルワークとは？」ということも考えながら進めています。また、当然これらに加えて、「医療ソーシャルワーク」の独自性、特殊性なども考えなければなりません。ということで、こちらの方はなかなか進んでいないのが現状ですが、担当者としては大変重要な事柄だと思っています。是非、こちらにも興味を持っていただければと思います。

大学院進学を希望する方へひと言

研究紹介にも書きましたように、病院等保健医療サービス提供機関におけるソーシャルワークに関連した研究課題、実践課題を持った方を歓迎いたしますが、これに限定しない、保健医療と関連した社会福祉制度・実践に関連した研究課題を持った方も歓迎いたします。まずはご相談下さい。

あわせて、医療ソーシャルワーカーの養成教育に興味関心がある方も、大歓迎です。

いずれにしても、進学してから後悔（？）しないように、事前に相談して下さい！！

大学院生の声

この研究室では医療ソーシャルワークとは何かを深く考えることができ、医療ソーシャルワーカーの目指すべき道を示してくれます。病院勤務の医療ソーシャルワーカーは、退院調整に業務の大半の時間を費やしている状況にあると思いますが、病院システムや地域課題に働きかけることの大切さを学ぶことができます。研究を基礎から学びなおすことができる部分も大きな魅力です。